

Press Release

2014年7月16日
メドピア株式会社

「後発医薬品の処方状況」について 6割以上は、4月以降も処方箋は変わっていない

医師約70,000人以上が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「後発医薬品の処方状況」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「後発医薬品の処方状況」について（総回答：3,787人）

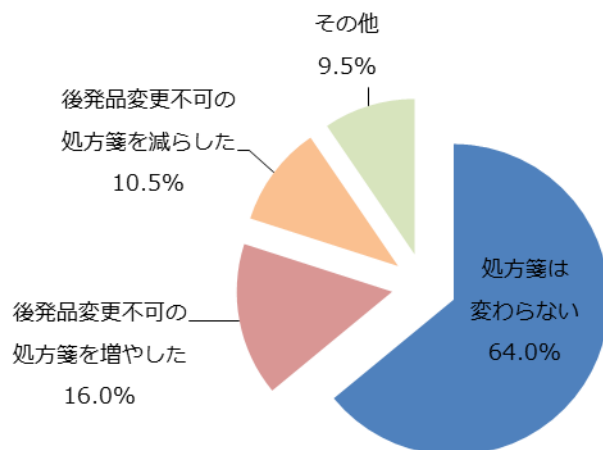
順位	回答	回答数（人）	占有率
1	後発品変更不可の処方箋は変わらない	2,425	64.0%
2	後発品変更不可の処方箋を増やした	603	16.0%
3	後発品変更不可の処方箋を減らした	398	10.5%
4	その他	361	9.5%
-	合計	3,787	100.0%

サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（70,000人以上）を対象に「4月に施行された診療報酬改定以降、後発品への変更不可とする処方箋は増加しましたか？」という質問をしたところ、3,787件の回答が寄せられた。
- 全体の64.0%が「後発品変更不可の処方箋は変わらない」と回答した。しかし、処方箋を変更していない理由は、「後発品は使用していない」「基本的に後発品を処方している」「調剤薬局で決めている」など、それぞれ異なる。「特に意識したこともない」というコメントもみられた。
- 「後発品変更不可の処方箋を増やした」は16.0%。「薬局がどんどん変えるので、不可を記載することが多くなった」「後発品を希望しないという患者が結構増えた」といった意見があった。
- 「後発品変更不可の処方箋を減らした」は10.5%。「患者さんのニーズに合わせている」「患者からの希

望が増えている」「DPC係数に影響するので」といった声があった。

▼総合結果



n=3,787 MedPeer調べ

回答コメント（回答一部を抜粋）

「後発品変更不可の処方箋は変わらない」 2,425件

- ・基本的に患者さんの意志にまかせていますので、原則変更不可にしていません。(40代、消化器内科)
- ・どうしても変えられないものがあります。詳しく説明しても、薬の名前が変わった途端症状が変わって、元の薬に戻して欲しいと頼まれること稀ならずあり。(40代、神経内科)
- ・変更不可の処方箋はほとんど発行していません。(50代、一般内科)
- ・先発品にしか適応症がないもの以外は、変更可です。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・元々適応に問題が無い限り積極的に後発品を使っていました。(50代、代謝・内分泌科)
- ・自分の専門分野の薬剤は先発品を使っていますが、そうでないものではどちらでも構いません。(50代、循環器内科)
- ・電子カルテだと最初から後発変更可になっており、そのままオーダーしてしまっています。(30代、消化器内科)
- ・金銭面で出来る限り後発品にして欲しいとの希望をされる方もおられるので、薬剤師と相談してもらおう。ジェネリックの効果にばらつきもあるように思うが、金銭が続かず、全く服用しなくなるようになるよりは良いと思う。(40代、一般内科)
- ・特に問題がないものについては以前からジェネリックを使用していますし、問題がある薬剤は銘柄を指定しており、方針が変わることはありません。(50代、小児科)
- ・後発品は使いません。(50代、一般内科)
- ・もともと後発品は患者希望でない限りは使っていません。(40代、精神科)
- ・院外処方の経口抗癌剤では、後発品を使わないようにしています。(30代、消化器外科)
- ・最近では、薬局と患者さんが直接交渉するケースが増えてきたように思います。それに関しては、口を出さないようにしています。(60代、一般内科)
- ・変更不可は変わりませんが、病院が後発品の採用を強化しているので、実際に後発品を処方する割合はかなり増加して

いる。(50代、一般内科)

- ・病院経営上、後発品推奨は政府方針もあって、推進せざるを得ない状況です。(50代、一般外科)
- ・アレルギー体質の方には原則後発品は不可にしています。(40代、耳鼻咽喉科)

「後発品変更不可の処方箋を増やした」 603件

- ・ほとんどが変更不可です。変更可能にできるだけの情報がほしいところです。(30代、皮膚科)
- ・最近、後発品を薬局に勧められて変更後にじんましんや体調不良となっている症例が目につきます。(50代、循環器内科)
- ・睡眠薬・鎮痛薬・心不全が絡む薬剤は後発品不可にしていることが多いです。例外は患者が強く希望した時。リスクを説明した上でそれでも希望した時は処方しています。(40代、総合診療)
- ・結果的に増えているとおもいます。デフォルトが変更可の処方箋なので。(40代、泌尿器科)
- ・多剤が併用となる場合はやはり副作用疑いが出た際、被疑薬の同定が困難になりそうで。(40代、泌尿器科)
- ・睡眠薬等に顕著ですが、調剤薬局での後発品への変更で、効かないなどの患者さんからの苦情が明らかに増えました。(50代、一般内科)
- ・私も後発品のほうが効果が薄いとを感じるものがいくつかあります。小児はお金がかからない場合が多々ありますので、先発品のほうにしていることが多いです。(40代、小児科)
- ・後発品の評判が悪いため、変更不可の処方箋を増やしています。(50代、整形外科・スポーツ医学)
- ・薬局がどんどん変えるので、不可を記載することが多くなった。(50代、麻酔科)
- ・後発品を希望しないという患者が結構増えました。(50代、口腔外科)

「後発品変更不可の処方箋を減らした」 398件

- ・後発品について印象だけで判断は危険だと思います。政策に国民(当然医師も)も協力していかないといけないのではないのでしょうか。(50代、精神科)
- ・変更不可にはしていません。薬局と患者さんと相談していただくようにしています。(50代、一般内科)
- ・医事課の方で自動的に後発品可にしているとします。(40代、整形外科・スポーツ医学)
- ・患者の要望がおおくなってきているため、仕方なく後発医薬品変更不可の処方箋を減らした。(30代、皮膚科)
- ・病院の方針なので、個人的には反対ですが、しょうがないです。(50代、産婦人科)
- ・頻回の薬局からの問い合わせ、患者の希望などあり、いちいち応えるのも面倒になり基本的に可としています。(40代、消化器内科)
- ・納得したわけではないが、時代の流れもあるのではないか。(60代、救急医療科)
- ・厚生労働省からのお達しなので 当然のこと後発品は増える。(50代、麻酔科)

「その他」 361件

- ・院内処方なので後発品に変更できません。(30代、精神科)
- ・私の勤務先の処方箋オーダーリングでは後発品可の処方しかできません。(50代、救急医療科)
- ・院内処方、後発品割り合いは年々増加している。(リハビリテーション科)
- ・ケースバイケースですが時々薬局で勝手に変更されていることもあるようです。(30代、呼吸器内科)

※調査方法

□期間：

2014年6月9日（月）～2014年6月15日（日）

□有効回答：

3,787人（回答者はすべて、医師専用サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、医師会員からご投稿頂いたテーマをもとに以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

4月に施行された診療報酬改定において、一般名処方が行われた医薬品については、原則として後発医薬品が処方されるようになりました。そのため、一般名処方が行われた医薬品について厚労省は、後発医薬品の有効性、安全性や品質について患者さんに懇切丁寧に説明し、後発医薬品の選択に納得してもらえるよう努める旨を規定しています。

しかし、私は後発薬品の中には、先発品と比較すると効果がいまひとつと感じる医薬品があり、薬剤によっては後発医薬品への変更を不可としています。

そこで、皆さまにお伺いします。

4月に施行された診療報酬改定以降、後発品への変更不可とする処方箋は増加しましたか。以下の選択肢から適当なものをご選択いただき、コメント欄に本改訂へのご意見や感想などをご入力ください。

1. 後発品変更不可の処方箋を増やした
2. 後発品変更不可の処方箋は変わらない
3. 後発品変更不可の処方箋を減らした
4. その他

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL：03-6805-0345 / e-Mail：pr@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer（メドピア）とは - 2014年6月時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: <https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつかるサイト」として、多くの医師に利用されています。

MedPeer

現在の会員は 70,000 人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 2,000 の医療用医薬品に対して、30 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上